

投稿のお勧め

「日本ソーシャルデータサイエンス学会論文誌」は、本学会の論文誌として、データサイエンス、ソーシャルデータサイエンスに関する理論やデータサイエンス技術の応用などについての最新の研究、事例などを積極的に発信し、学術発展に寄与することを目的としています。論文の投稿は随時受け付けていますが、発刊に合わせて締め切りを設ける場合があります。

「日本ソーシャルデータサイエンス学会論文誌」論文投稿規定

1. 本誌の対象となる論文の範囲

「日本ソーシャルデータサイエンス学会論文誌」では、「原著論文」の投稿を募集します。データサイエンス分野に関連した新しい理論や方法、もしくは実際の事例についてその実施にあたっての工夫や新規性・有用性がある内容を想定しています。

2. 論文投稿

- (1) 著者のうち少なくとも1名は会員である必要があります。
- (2) 学会事務局に論文をメールに添付して投稿してください。
メールのタイトルは「論文投稿」であることを明記してください。
投稿先：jsdss@jsdss.org
- (3) 使用言語は日本語もしくは英語とします。
- (4) 論文のページ数の上限は設定しませんが、学術論文として必要かつ十分な記述を求めます。
- (5) 投稿論文については著者名が表記されたものと、著者名を消したものの両者を送ってください。
- (6) 投稿論文は受付日よりおおむね2か月以内に査読結果を通知します。
- (7) 査読結果は「採録」、「条件付き採録」「照会」「不採録」のいずれかとします。
- (8) (6)のうち条件付き採録、照会の場合の再投稿期間は査読結果通知後原則1か月以内とします。

3. 査読規定

投稿された論文は、以下に示す査読基準に照らし合わせ、編集委員会が指名するレフェリーの意見に基づき、編集委員長が採否を決定します。なお、審査過程の問い合わせについては応じられません。

- (1) データサイエンスに関する新しい理論や技術が含まれていること、または既存の理論は技術の応用において工夫をしていること、もしくは、実際の事例について書かれていること。
- (2) データサイエンス手法を適用するにあたっての問題点の分析、考察などが具体的に示されていること。
- (3) 論文の表現が平易で、かつ論理的に書かれていること。

- (4) 内容や記述に誤りがなくあいまいな点がないこと。
- (5) 適用対象や手法の新規性または有用性が示されていること。

4. 著作権

掲載論文の著作権はすべて学会に帰属します。掲載論文はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス CC BY-NC-ND（表示-非営利-改変不可）4.0 国際ライセンスに基づいて論文を出版します。このライセンスは、適切なクレジットを表示する限りにおいて、改変されていない記事を非営利目的でのみ共有することを許可します。営利目的での利用を希望する場合は、本学会へ申請し許可を得ることが必要です。

5. 論文原稿の作成

投稿論文は以下に従って作成してください。

- (1) 論文原稿は電子ファイルとして作成すること。
- (2) 図は原則として著者が用意したものから版下作成をするので、はっきりとしたものを用意すること。
日本語で書かれた論文においては、英文のタイトルとアブストラクトを記載すること。
- (3) その他、節項の使い方、参考文献の書き方、文献の参照の方法などは細則をご参照されたい。

6. 規定の改廃

この規定の改廃は編集委員会の議を経て、理事会がおこなう。

附則

- 1. 本規定は 2022 年 7 月 15 日より効力を有する。
- 2. 本規程の一部改正は、2026 年 4 月 1 日より施行する。

投稿論文細則

1. 論文の構成

タイトル、アブストラクト、キーワードを書き、本文を書く。本文の後に参考文献と必要に応じて付録を付ける。日本語の論文の場合はページを変えて英文でタイトル、アブストラクト、キーワードを記入する。著者名と所属も併せて記載するが、削除した版も作成する必要があるので注意されたい。

2. 節項の書き方

節番号は「1.はじめに」「2.方法」のように通番を付け、項番号・小項番号はそれぞれ節番号の枝番「1.1」,「1.2」および項番号の枝番「1.1.1」,「1.1.2」と付ける。

3. 図表について

図表は明瞭なものが求められる。図については図の下に「図 1 タイトル」「図 2 タイトル」というように通番とタイトルをつける。表については表の上に「表 1 タイトル」「表 2 タイトル」というように通番とタイトルをつける。

4. 数式

数式は誤読がないように数式エディタ、TeX などを利用して作成することが望ましい。文章内の数式や変数についても同様である。数式番号は数式の右端に「(1)」,「(2)」というように通番で付け、本文内での引用は「式(1)」,「式(2)」と表記する。ただし、TeX で投稿された場合においては、公刊時は Word を元にした組版を行うので注意されたい。

5. 参考文献

参考文献は本文での参照順に記載する。「[1]」「[2]」のように通番を付け、本文中ではこの番号で引用や参照を示す。なお、種類によって以下のように記述する。

(和文論文)

[1] 第 1 著者氏名, 第 2 著者氏名, “タイトル,” 掲載誌名, Vol. x, No. y, pp. zzz-www (2022).

(英文論文)

[2] A. Name1, B. Name2 and C. Name3, “Article Title,” Journal Name, Vol. x, No. y, pp. zzz-www (2022)

(和書)

[3] 第 1 著者氏名, 第 2 著者氏名, 「書名」, 出版社名 (2022).

(洋書)

[4] A. Name1, B. Name2 and C. Name3, Book Name, Publisher, pp. zzz-www (2022)

(ウェブページ)

[5] 公開者名もしくは著者名, 「タイトル」 (短文の場合は“タイトル”) (2022)
<https://.....html> (2022 年 4 月 1 日アクセス)

6. 細目

- 英数字は半角とする.
- 句読点は「.」「,」を基本とする.

附則：本細則は 2022 年 7 月 15 日より効力を有する.